



この施策は、サステナビリティを経営の基盤に位置付けている阪神高速グループが
取り組むべき重要課題の一つ
「サステナブルなまちづくり／社会貢献活動の推進」の実現に向けたものです。

2025 年 12 月 18 日

阪神高速 ^{あす} 未来へのチャレンジプロジェクト 第 5 回助成事業の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長:上松英司）は、グループ会社 6 社（※）及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、2021 年 4 月から『阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト』をスタートしました。

（※）阪神高速サービス株式会社、阪神高速技術株式会社、阪神高速パトロール株式会社、
阪神高速トール大阪株式会社、阪神高速トール神戸株式会社、阪神高速技研株式会社

本プロジェクトは、市民団体が阪神高速道路沿線で行う公益的な活動に対し、公募により助成を実施するもので、市民団体との協働により社会課題の解決を図り、地域・社会の持続的発展及び SDGs 達成へ貢献していくことを目的としています。

第5回助成として、2025 年 6 月 9 日から 7 月 31 日まで、4 つのテーマ（①安全・安心なまちづくり、②持続可能な環境づくり、③次世代を担う人づくり、④地域・社会の活性化や賑わい創出）に沿った事業プランを募集したところ、計 54 事業の応募をいただきました。これらを厳正に審査した結果、以下の 8 事業へ総額 400 万円の助成を実施することを決定しました。

団体名	事業名称	事業概要
認定 NPO 法人 CLACK	困難を抱える高校生のための無料デジタル・キャリア教育支援	生活困窮、ひとり親、不登校、外国にルーツを持つこと、発達障害など、さまざまな環境要因によって困難を抱える高校生を対象に、デジタル教育とキャリア教育を提供する。IT スキルの習得に加え、自己肯定感や学習意欲を高め、将来的な自立・自走を促す。
神戸・田んぼ応援団	神戸市内の小学校に田んぼを造成！生物多様性と食農を学ぼう！	児童への食農体験を希望する学校において、簡易田んぼの造成を行い、新たなフィールドを創出し、児童への通年の稲作体験を提供。そのノウハウをハンドブックの作成により他校にも共有することで、市内全域に活動を展開させたい。
シビル・ベテランズ & ボランティアズ	ベテラン土木技術者による次世代人材育成の活動	熟練技術者の豊富な経験を活かし、独自に調査した橋梁などの土木施設および選奨土木遺産の機能や魅力について経験談・失敗談を交えて若手技術者・学生に伝える。さらに、小中高生向けに土木技術への興味を引く教育活動を行う。

団体名	事業名称	事業概要
特定非営利活動法人 ダウン症ファミリー 総合支援めばえ21	障がい者の青年期の居場所 ～めばえ芸術大学校(仮称) 設立	18歳以上の障がい者が日中活動後に過ごせる居場所を提供し、音楽・身体表現、グループ療育、イベントや企業交流等でオリジナル珈琲販売を実施。次年度の「めばえ芸術大学校（ホテル学科含む）」設立で才能育成と社会参画を促進する。
つむぎ	学びと体験で子育て家庭を支える地域づくり事業	パネル展や親子参加型の防災ワークショップ、展覧会を通じ、障がいを持つ子育て家庭が災害時にも安心できる知識やつながりを得る機会を提供。地域と協働し、学びや体験を重ねることで孤立を防ぎ、支え合う安全なまちづくりを進める。
特定非営利活動法人 HALE ONO 子ども支援 プロジェクト	HALE ONO「未来へつなぐ」子ども支援:地域に根差した食と学びの拠点づくり	子どもの孤食・孤立解消を目指し、週3回無料の食事と学習・交流の場を提供。子どもたちの健全な成長を促し、地域社会の活性化に貢献する。
NPO 法人 武庫川 ECO-LABO	フィッシュシェアリング活動を通じた体験学習	尼崎の海と魚を活かしたフィッシュシェアリング活動を子供達に体験してもらう事で、食育・環境・循環学習に繋げ尼崎市臨海部を学習の町として活性化させる。
NPO 法人 輪母ネットワーク	地域コミュニケーションハブ「わははハウス」運営事業	障害のある子と家族が地域で過ごしやすくなることをテーマに、生野区の常設拠点である地域コミュニケーションハブ「わははハウス」で防災啓発・ピア相談・フード支援等を展開する共生型コミュニティを運営する。

(団体名の50音順)

なお、活動成果については、2027年2月頃、弊社HP等で公表する予定です。

今後も、本プロジェクトを通じて、地域・社会の持続的発展に貢献できる活動を応援し、明るい未来の共創に努めてまいります。

